平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月6日

上場会社名　ワイエスフード株式会社　　上場取引所　東
コード番号　3358　URL　http://www.ys-food.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 緒方　正憲
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長　(氏名) 岩下　征吾　TEL 0947-32-7382

四半期報告書提出予定日　平成25年8月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	477	△17.0	5	132.3	3	119.7	△2	―
25年3月期第1四半期	575	△20.6	△16	―	△18	―	△36	―

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　△3百万円　(―%)　25年3月期第1四半期　△31百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△63.11	―
25年3月期第1四半期	△967.58	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	4,052	1,945	48.0	53,740.99
25年3月期	3,933	1,948	49.5	53,841.39

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　1,945百万円　25年3月期　1,948百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		0.00	―	―	―

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
平成26年3月期の期末配当につきましては、現時点では未定となっております。

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	―	―	―	―	―	―	―	―	―
通期	1,927	△12.5	54	282.1	44	480.6	38	―	1,063.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	38,730 株	25年3月期	38,730 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	2,532 株	25年3月期	2,532 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	36,198 株	25年3月期1Q	37,330 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の新たな経済政策や金融政策等への期待感などから円安の進行や株価の上昇など、明るい兆しが見られました。

外食産業におきましては、国内の市場規模に拡大が見られない状況の中、異業種との競争激化も続いており厳しい状況でありました。

このような状況の下、当社グループは「一杯のラーメンをお客様に満足していただく」という創業当時からの理念にのっとり、「美味しさと快適な食の空間」の追求はもちろん、お客様満足度向上のための重要な要素である店舗のＱＳＣ（Ｑ＝クオリティ・Ｓ＝サービス・Ｃ＝クリンリネス）の徹底を積極的に取り組むことで、お客様一人一人に誠実であり続けることに、より一層推進してまいりました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高が前年同四半期に比べ97百万円減少し、477百万円となりました。利益面につきましては、営業利益５百万円（前年同四半期は営業損失16百万円）、経常利益３百万円（前年同四半期は経常損失18百万円）、四半期純損失２百万円（前年同四半期は四半期純損失36百万円）と改善されました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

(外食事業)

当第１四半期連結累計期間における外食事業におきましては、「餃子190円キャンペーン」をはじめとする各種セールを実施するとともに、ＱＳＣの徹底を積極的に取り組むことで、店舗体質の改善に努めてまいりました。

また、海外事業の活動内容としましては、平成25年３月に出店したフィリピン１号店目が好調なことにより、平成25年６月にフィリピン２号店目となる「一康流ＳＭオーラ店」を出店しております。

海外事業におきましては、引き続き海外での店舗展開を広め、食材出荷量の増加及び新ブランドの設立並びに食材卸事業等による新たな収益源の確保に注力してまいります。

この結果、当第１四半期連結累計期間の店舗状況は、海外の新規出店が１店舗、契約満了を含む店舗の閉鎖が３店舗（ＦＣ店２店舗、海外１店舗）、直営店からＦＣ店へ変更した店舗が１店舗あったことから、当第１四半期連結会計期間末の店舗数は、前連結会計年度末に比べ２店舗減少して153店舗（直営店12店舗、ＦＣ店115店舗、海外26店舗）となりました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は440百万円（前年同四半期比17.7%減）、営業利益20百万円（同415.2%増）となりました。

(不動産賃貸事業)

当社が所有する店舗用地等の有効活用を目的とした賃貸事業を行っております。

当第１四半期連結累計期間の売上高は13百万円（同0.3%増）、営業利益６百万円（同3.0%増）となりました。

(外販事業)

連結子会社大幸食品㈱が、お客様及び当社にすりごまの製造販売を行っております。

連結子会社ふくおか製麺㈱が、当社の生産する製品を主要販売品目とし、外販を行っております。

当第１四半期連結累計期間における外販事業の売上高は21百万円（同1.7%減）、営業損失11百万円（前年同四半期は営業損失15百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における流動資産は1,001百万円となり、前連結会計年度末に比べ155百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が154百万円増加したこと等によるものであります。また、固定資産は3,051百万円となり、前連結会計年度末に比べ35百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が24百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は4,052百万円となり、前連結会計年度末に比べ119百万円の増加となりました。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における流動負債は961百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が13百万円減少したものの、１年内返済予定の長期借入金が26百万円増加したこと等によるものであります。また、固定負債は1,146百万円となり、前連結会計年度末に比べ128百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が130百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は2,107百万円となり、前連結会計年度末に比べ123百万円の増加となりました。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産合計は1,945百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が2百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資産比率は48.0％（前連結会計年度末は49.5％）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の連結業績予想につきましては、現時点において平成25年５月14日に公表致しました連結業績予想の変更はございません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	517,745	672,446
売掛金	125,667	126,436
有価証券	10,010	10,010
商品及び製品	101,261	101,750
仕掛品	3,152	2,891
原材料及び貯蔵品	21,465	21,368
その他	66,943	69,136
貸倒引当金	△492	△2,883
流動資産合計	845,754	1,001,156
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,132,206	1,112,564
機械装置及び運搬具（純額）	77,017	73,426
土地	1,562,857	1,562,857
その他（純額）	18,677	17,476
有形固定資産合計	2,790,759	2,766,326
無形固定資産		
のれん	19,925	14,944
その他	8,384	11,234
無形固定資産合計	28,310	26,178
投資その他の資産		
投資有価証券	25,040	24,204
繰延税金資産	68,673	69,033
敷金及び保証金	118,472	116,967
その他	73,635	66,533
貸倒引当金	△17,177	△17,484
投資その他の資産合計	268,644	259,254
固定資産合計	3,087,714	3,051,759
資産合計	3,933,469	4,052,915

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	82,380	73,685
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	426,765	453,441
未払法人税等	19,310	5,413
賞与引当金	21,932	10,449
ポイント引当金	1,823	1,782
資産除去債務	1,250	－
その他	213,317	216,321
流動負債合計	966,780	961,094
固定負債		
長期借入金	734,092	864,148
退職給付引当金	66,747	67,419
役員退職慰労引当金	47,492	47,602
資産除去債務	47,376	47,618
その他	122,029	119,716
固定負債合計	1,017,737	1,146,505
負債合計	1,984,518	2,107,599
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,002,050	1,002,050
資本剰余金	799,750	799,750
利益剰余金	181,038	178,754
自己株式	△47,296	△47,296
株主資本合計	1,935,541	1,933,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,409	12,059
その他の包括利益累計額合計	13,409	12,059
純資産合計	1,948,950	1,945,316
負債純資産合計	3,933,469	4,052,915

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	575,379	477,585
売上原価	237,018	221,043
売上総利益	338,361	256,542
販売費及び一般管理費	354,499	251,323
営業利益又は営業損失（△）	△16,137	5,219
営業外収益		
受取利息	211	525
受取配当金	44	49
協賛金収入	500	595
その他	1,334	1,376
営業外収益合計	2,091	2,546
営業外費用		
支払利息	4,269	3,950
その他	193	171
営業外費用合計	4,463	4,122
経常利益又は経常損失（△）	△18,509	3,643
特別利益		
固定資産売却益	54	80
特別利益合計	54	80
特別損失		
固定資産除却損	415	374
特別損失合計	415	374
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△18,870	3,348
法人税、住民税及び事業税	4,910	4,053
法人税等調整額	12,338	1,579
法人税等合計	17,248	5,632
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△36,119	△2,284
四半期純損失（△）	△36,119	△2,284

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△36,119	△2,284
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,377	△1,349
その他の包括利益合計	4,377	△1,349
四半期包括利益	△31,742	△3,634
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△31,742	△3,634
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	外食事業	不動産賃貸事業	外販事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	535,850	13,716	22,051	571,617	3,762	575,379	－	575,379
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	2,132	39	819	2,991	－	2,991	△2,991	－
計	537,982	13,755	22,870	574,608	3,762	578,370	△2,991	575,379
セグメント利益又は損失（△）	4,023	6,677	△15,440	△4,738	496	△4,241	△11,895	△16,137

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店用の厨房設備の販売等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△11,895千円には、セグメント間取引消去317千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△12,213千円等が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	外食事業	不動産賃貸事業	外販事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	440,768	13,762	21,665	476,196	1,389	477,585	－	477,585
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	2,422	39	855	3,317	－	3,317	△3,317	－
計	443,190	13,801	22,521	479,513	1,389	480,903	△3,317	477,585
セグメント利益又は損失（△）	20,730	6,878	△11,462	16,145	238	16,384	△11,165	5,219

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店用の厨房設備の販売等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△11,165千円には、セグメント間取引消去210千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△11,376千円等が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。